

【課題・背景等】

- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の円滑な開催や訪日外国人旅行者数2020年4000万人、2030年6000万人の目標達成等の観点から羽田空港の機能強化は必要不可欠。
- このため、羽田空港において、飛行経路の見直し等による2020年までの空港処理能力拡大等に必要な施設整備を実施する。

事業内容

平成29年度配分額(事業費): 472億円



効果

- 羽田空港の飛行経路の見直し等、既存インフラを賢く使うことにより、2020年までに昼間時間帯の国際線空港処理能力が年間約6万回 → 約9.9万回に拡大
(約3.9万回拡大)
(国際線が約1.7倍に増加)

経済波及効果(年間) 約6,500億円、
税収増加 約530億円、雇用増加 約5万人



- ・国際競争力の強化
- ・2020年までの訪日外国人旅行者数4000万人目標への対応